

平成19年度 事務事業評価表						
(様式1)						
記入年月日		記入者		連絡先	3243	
平成18年度部名	土木部	課名	土木計画課	課長名	佐藤 繁	
平成19年度部名	土木部	課名	土木政策課	課長名	佐藤 繁	
事務事業名	都市計画道路等調査測量設計委託(土木計画課分)					
予算上の事務事業名	都市計画道路等調査測量設計委託					
1 総合計画における位置づけ				施策コード	32110	
基本目標	「躍動し 魅力あふれる交流拠点都市」をめざして					
政策名	第2章 質の高い都市基盤の整備を進めます					
基本施策名	第1節 骨格幹線道路網の整備					
施策名	第1施策 広域的幹線道路の整備					
2 実施根拠及び関連法令・条例・規則・要綱等	都市計画法、道路法					
3 個別計画の概要				概要		
計画名	道路整備10ヵ年計画			道路用地として取得を予定している土地に係る補償積算等を行うもの。		
計画年次	8	年度～	20	年度		
4 事業形態の区分	建築・整備・重要物品購入			5 事業開始年度	昭和63年以前	
6 事業概要						
(1) 事業の目的(何のために行うのか、またはもたらしたい成果)				(2) 対象(誰、何)		
都市計画道路等の用地取得に際し、建築物その他物件の補償額について、公共用地取得損失補償基準に基づき積算を行うもの。				取得用地の権利関係者		
(3) 平成18年度事業の内容(活動)・・・いつ、どのような方法で実施した内容(活動)なのか。						
8箇所、4路線について、委託により調査を実施した。 (木造3件、非木造4件、営業調査その他1件)						
7 関連事業・類似事業又は他市の状況						
8 事業費の推移	[単位：千円]					
年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度	
事業費	12,033	28,172	9,103	11,000	25,000	
一般財源	12,033	28,172	9,103	11,000	25,000	
受益者負担金	0	0	0	0	0	
その他の特定財源	0	0	0	0	0	
人件費の合計	8,070	8,050	8,050	8,050	8,050	
事業コスト合計	20,103	36,222	17,153	19,050	33,050	
9 事業効率・・・活動単位当たりの事業効率						
事業名 (主たる事業名)	建築物等積算業務委託			対象名称 と単位	調査完了物件数	
年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度	
事業コスト(主たる事業)	20,103	36,222	17,153	19,050	33,050	
対象数	5	14	8	7	15	
単位あたり経費(円)	4,020,600	2,587,286	2,144,125	2,721,429	2,203,333	
前年度比		0.64	0.83	1.27	0.81	

10 活動指標・・・実施した内容（活動）を数値化したもの					
指標名と単位	実施率	指標式と指標の説明		調査完了物件数 / 当初予定件数（％）	
	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度
実績	100.0	100.0	100.0		
目標	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
目標達成度（％）	100.0	100.0	100.0		
11 成果指標・・・もたらしたい成果の達成度を数値化したもの					
指標名と単位	依頼案件の消化率	指標式と指標の説明		調査完了物件数 / 事業課からの依頼物件数（％）	
	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度
実績	100.0	100.0	100.0		
目標	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
目標達成度（％）	100.0	100.0	100.0		
12 個別評価					
(1) 妥当性の評価 [A：妥当である・B：妥当性に課題がある・C：妥当でない]					
A	<input checked="" type="checkbox"/>	・法令、条例により実施することが義務付けられている。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・法令、条例に定められた市の責務を具体化して実施する事業である。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・公益性が高い、または必需性が高い事業である。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・将来にわたって、市民のニーズや行政需要がある。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・税金を投入して実施するにふさわしい事業であり、市民にも説明できる。			
(2) 有効性の評価 [A：有効である・B：有効性を高める余地がある・C：有効でない]					
A	<input checked="" type="checkbox"/>	・上位施策の目的を達成するために大きく貢献している。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・課題等の解決や市民生活に大きく貢献している。			
	<input type="checkbox"/>	・成果指標の実績値とその推移から見て、期待されるような成果をもたらしている。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・事業の対象範囲は適切であり、対象は事業を実施したことによる効果を楽しんでいる。			
(3) 効率性の評価 [A：効率が良い・B：効率性を高める余地がある・C：効率が悪い]					
A	<input checked="" type="checkbox"/>	・単位あたりの経費は適正である。			
	<input type="checkbox"/>	・再任用や非常勤職員などを活用しても、これ以上のコスト節減の余地がない。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・受益者負担や補助等の割合に問題はない。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・事業の実施方法や実施体制は適正である。			
(4) 民間活力または市民協働の導入の可能性〔有・無〕					
無	<input type="checkbox"/>	・業務の一部または全部について、民間で実施する方が適している。			
	<input type="checkbox"/>	・業務の一部または全部について、市民協働により推進する方が適している。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・業務の一部に民間委託を導入しているが、さらに民間委託を導入しても効果が見込めない。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・市で実施する方が民間委託等をするより適している。			
13 総合評価（一次評価）					
(1) 自動判定結果					
	〔 〕：良好な状態を維持する事業				
	〔 〕：概ね良好な状況である事業				
	〔 〕：見直しを行う必要がある事業				
	〔 〕：抜本的な見直し、休止、廃止を検討すべき事業				
(2) 事業所管課長による評価（今後の方向性）			(3) 事業所管課長の評価に関する説明		
拡充・充実	<input checked="" type="checkbox"/>	・拡充・充実		業務の一部を委託化することにより、効率的に事業を実施している。	
	<input type="checkbox"/>	・現状維持			
	<input type="checkbox"/>	・見直し			
	<input type="checkbox"/>	・廃止			
14 成果向上及び効率性を高めるための方策			15 課題として認識されたこと		
道路整備事業の増加に伴い、今後、更に業務量が増えることが予想される中、人件費の増大を抑制し1物件あたりのコストを縮減できるよう努めていく。			合併による市域の拡大に伴う地域間格差の是正のため、平成20年度は業務量の増加が予想される。		
16 二次評価					
(1) 局内評価会議による評価（今後の方向性）			(2) 二次評価コメント		
拡充・充実	<input checked="" type="checkbox"/>	・拡充・充実		・津久井地域の整備状況等も勘案し、計画的に事業を実施する。	
	<input type="checkbox"/>	・現状維持			
	<input type="checkbox"/>	・見直し			
	<input type="checkbox"/>	・廃止			